

WG名	①行政手続オンライン化WG
項 目	内 容
①実現したい未来	2025年度（令和7年度）末までに、全ての行政手続をオンライン化し、住民の利便性向上を図る。
②背景・現状	令和2年7月時点で、オンライン化率は約1.8%（36／1,978件）
③課題	・書面（通知書等）、対面（添付書類、交付物等）制約 ・バックヤード環境不足 ・ツールの理解不足 ・デジタルデバイド対応 等
④原因	・公印の取扱いが未整理 ・ツール研修機会がない ・行政機関発行の証明書等の電子化の対応が未整理 ・文書管理システム未導入 ・デジタルデバイド対策期間が短い
⑤解決策	・公印の省略化 ・文書管理システム導入（R5.4～） ・前橋市発行の証明書の添付省略化 ・デジタルデバイド対策が不要なところから着手 ・ツール研修実施
⑥得られる効果（予測）	住民の利便性向上及びバックヤードの効率化
⑦R3年度取り組み	・オンライン化検討順序（手続分類単位）をWGで合意 ・WG対象所属の手続に関して、優先的にオンライン化を検討する手続を抽出 ・WG対象所属の3課（文国、長寿、道管）でBPR実施（個別に検討していた所属を除く）
⑧今後の展開 （スケジュール）	・オンライン化検討順序の優先度が高いものから、オンライン化を検討（子育て・介護等国が優先的にオンライン化を求めている手続、R3年度に抽出した手続、補助金業務等） ・モデルケースの作成(オンライン化までの検討経過や利用促進の取組を可視化・定型化)

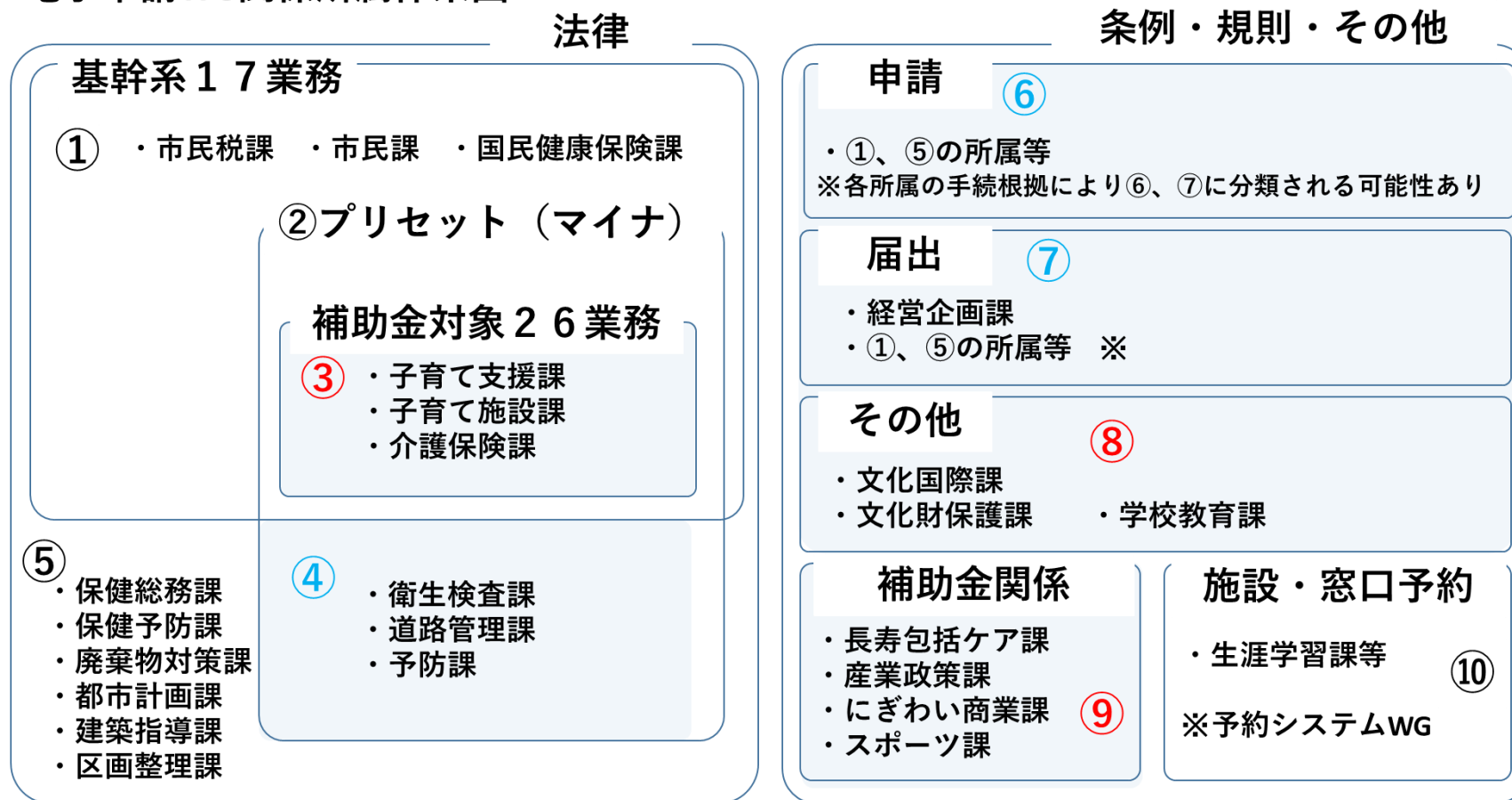
【取組状況】行政手続オンライン化WG

これまでの取組

①優先的にオンライン化を検討する順序（手続分類単位）を合意

検討順序 ③、⑧、⑨ → ④、⑥、⑦
効果が高いものは左記順序に拘らない

電子申請WG関係所属体系図

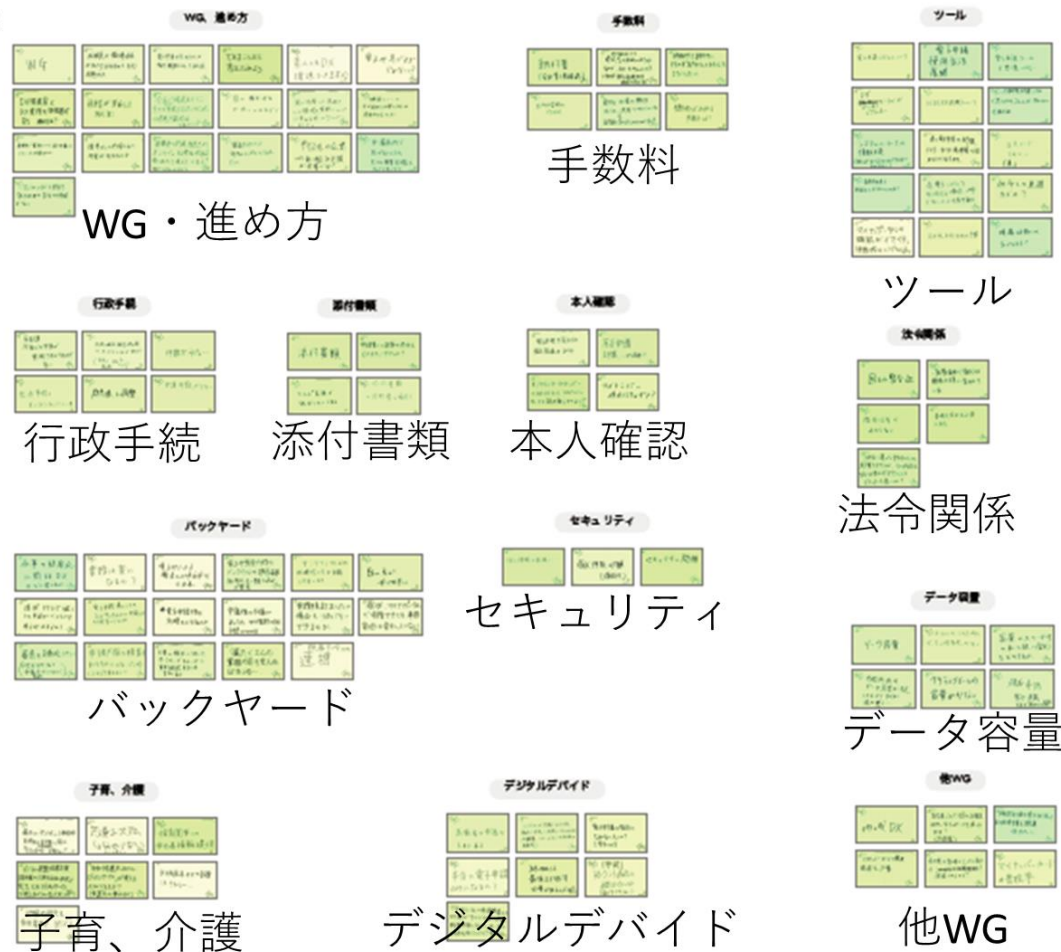


【取組状況】行政手続オンライン化WG

これまでの取組

②タスク（WGでやること、課題等）を付せんで発散、収束

第1回発散結果



○13種類の項目について発散→収束



【取組状況】 行政手続オンライン化WG

これまでの取組

③優先的にオンライン化を検討する手続について照会を実施

【概要】

○抽出条件

①WG所属（優先26手続所管所属（介護、子施、子支）を除く）

②未電子化手続 ③施設予約関連を除く

④手続想定件数501件以上

→結果、照会対象は63手続（14所属）

○照会結果

オンライン化導入意向「有」とされた所属

- ・申請：市民税課、国民健康保険課、産業政策課、建築指導課、経営企画課
- ・届出：衛生検査課、国民健康保険課、建築指導課、経営企画課
- ・その他：建築指導課、道路管理課、文化財保護課、学校教育課

赤字：優先的に検討ができると思われる手続を所管する所属

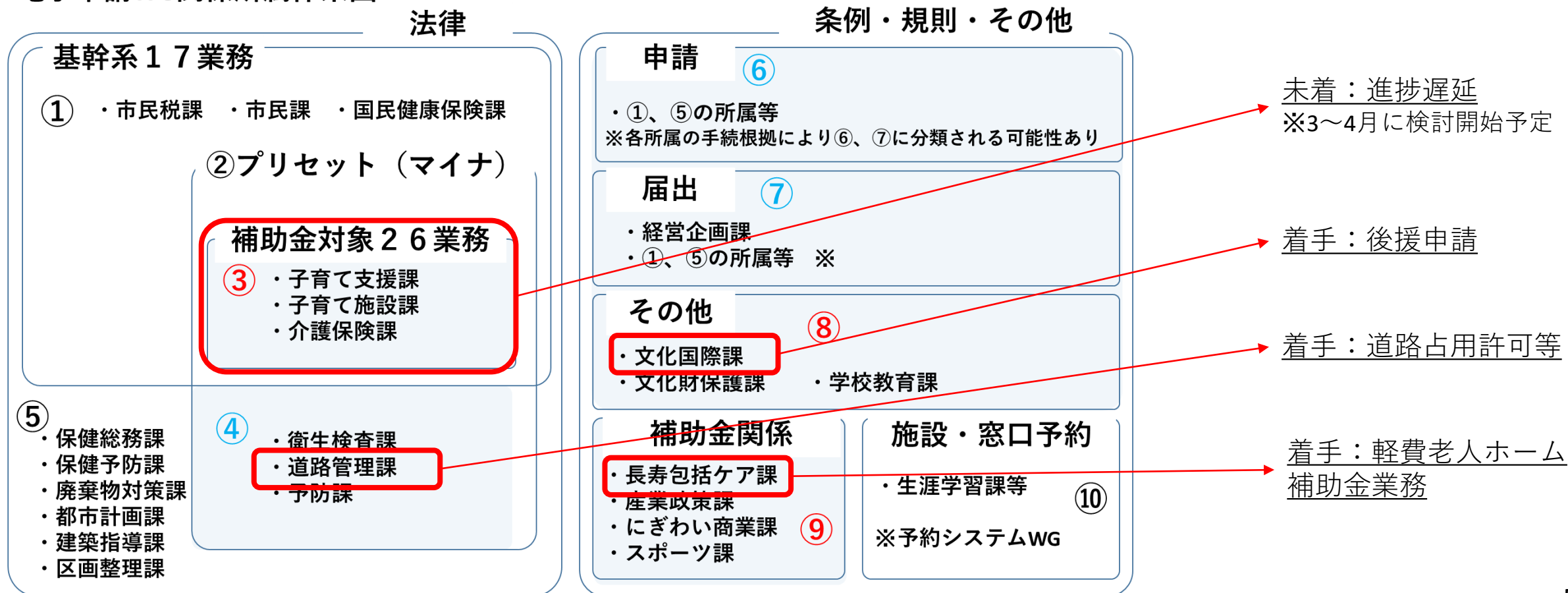
【取組状況】行政手続オンライン化WG

これまでの取組

④オンライン化の検討着手

検討順序 ③、⑧、⑨ → ④、⑥、⑦
効果が高いものは左記順序に拘らない

電子申請WG関係所属体系図



【取組状況】 行政手続オンライン化WG

これまでの取組

④オンライン化の検討着手（個別の検討状況）

○後援申請（文化国際課）

R4.5～オンライン化予定

○道路占用許可等（道路管理課）

・申請の半数が水道局からの申請（公印押印）である【課題】

→執行機関、官公庁間の公印廃止について行政管理課と検討開始

○軽費老人ホーム補助金業務（長寿包括ケア課）

・交付決定通知等、市からの発出文書に公印を押印している【課題】

→交付決定通知等の公印廃止について行政管理課と検討開始

→補助金申請のオンライン化について、方針整理して庁内展開予定



オンライン化の【課題】である書面押印の排除を主に検討